

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 5 月 20 日

長野県知事 阿部 守一 様

提出者

住 所 木曾郡上松町大字上松2048  
 (法人にあつては、主たる事業所の所在地)  
 氏 名 木曾広域連合 環境センター  
 所長 平田 豊  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 0264-52-2530

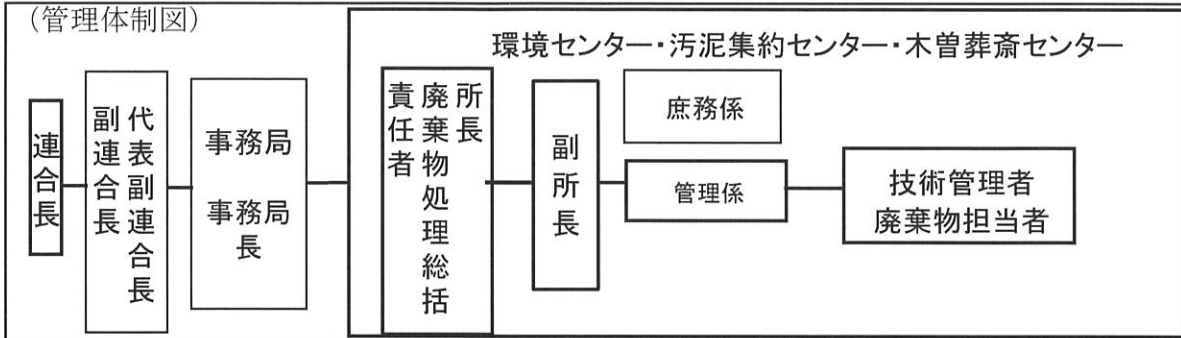
廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第55条第1項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	汚泥集約センター
事業場の所在地	木曾郡上松町大字上松2048-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	水道業・下水道業・下水道処理施設維持管理業〔3631〕
②事業の規模	
③従業員数	11名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>             graph LR             A[各町村下水終末処理場] -- 汚泥 --&gt; B[汚泥集約センター]             subgraph B [汚泥集約センター]             C[汚泥貯留槽] --&gt; D[脱水]             end             D --&gt; E[脱水汚泥再生処理委託 (コンポスト、乾燥・炭化)]             D -- 脱離液 --&gt; A         </pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	946 t	t
	(これまでに実施した取組)		
令和5年度は、排出された脱水汚泥全量を県内委託業者によるコンポスト処理の循環型再生利用と乾燥・焼却処理をし県内で最終処分を行なった。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	1041 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
効率の良い脱水処理を行い、発生する汚泥を抑制する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1041 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
汚泥の適正な処理及び安全性を考慮し、有害物質の有無を確認するために 分析測定を十分に行い、安全性を確保して県内での最終処分とする。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

単位：t

実績：前年度産業廃棄物排出量  
計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った（行う）量				自ら中間処理を行った（行う）量				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量				処理の委託					
	総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら中間処理を行った（行う）量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑥	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳		
1 燃え殻																		
2 汚泥	946.15	1,041.00				946.15	1,041.00											
3 廃油																		
4 廃酸																		
5 廃アルカリ																		
6 廃プラスチック類																		
7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																		
8 紙くず																		
9 がれき類																		
10 家畜ふん尿																		
11 家畜の死体																		
12 動物糞尿																		
13 はいじん																		
14 処分するために処理したもの																		
合計	946.15	1,041.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	946.15	1,041.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※ 総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

- ・各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所に左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量と自ら中間処理した後に再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後に再生利用した量を記載してください。
- ・「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後に埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。